

一般質問

観光佐渡をどうする



大澤祐治郎 議員

質問

口を開けば観光は、佐渡の重要な基幹産業で観光なくして佐渡の将来設計は画けない。行政、市民上げて英知を絞って真剣に取り組む必要がある重大な課題とうたい、

施政方針でも佐渡観光は将来を左右する重大かつ「喫緊」に取り組む重要な政策だと言っている。

しかし、具体性に欠ける。高野市政では「こんな政策で」具体的に「何をやる」と言った説明責任の伴った発言を市民は期待して待っている。現状では不安が募るばかりだ。先ず「何を」どうしたいのか。

市長 県と17年も苦勞している空港の早期実現に

全知全能を使っている。先般もわずか残った地権者に再三再四のお願いをしたばかりだが、未調整に終わって、進展がない。このつまずきを何とかしたいと努力中だ。

質問 近代観光に大型飛行機、大型空港は必然な話だ。よしんば、地主の合意が得られても2000メートルの滑走路では精々150人乗りのジェット機が飛ぶに過ぎず、国際観光時代の空港にほど遠い話だ。市長の考える大型空港とは県が20年前に考えた2000メートルの滑走路のことか。

市長 まず現在の秋津に県が認めた2000メートルの滑走路のことが。

市長 小松、米子、福岡、岡山、札幌、沖縄等、国内で自衛隊と共有の空港

トルの滑走路を実現したい。

質問 今国会が北朝鮮や中国の核の脅威から国土を守るために防衛策の見直しが問題になっている。佐渡も国内4つ目のミサイル防衛の新型レーダーが配備される。この際、国に大型飛行場と「人口」増を合わせて航空自衛隊の誘致を働きかける勇氣はないか。それ以外ジャンボが飛来する空港は望めない。また、雇用の創設機関と人口増を考え合わせられる政策は、これ以上のものはないと思うがどうか。

市長 小松、米子、福岡、岡山、札幌、沖縄等、国内で自衛隊と共有の空港

市長 小松、米子、福岡、岡山、札幌、沖縄等、国内で自衛隊と共有の空港

は幾つかあるが、いずれも自衛隊機優先で民間機の利用には不便であると聞いているが研究してみたい。

質問 リピーターを増やすには人工的な観光資源を増やさないと限り見込みは立たない。国内の名だたる観光地では誘客にテーマパークと水族館の合築が花形だと聞く。海岸王国佐渡でも子供の教育と観光が合致した施設が

必要と考える時期に来ている。修学旅行を誘致しておきながら子供に見せる資源がない。相川は観光客の減によりさびれる観光の都だ。相川に水族館を作って観光復興に力を注ぐべきだと思うがどうか。

市長 官が持っている水族館は、どこでも赤字で困っている。しかし座して死を待つことは愚かなこと、しっかり研究する。

